

田園環境都市おやまビジョン 基礎資料 | 桑地区

図版集

II 踏査および文献調査による報告

2024年1月

小山市

有限責任事業組合 風景社

本調査における風土の定義

風土とは、
地域の自然に
人間が暮らしと生業を通して
働きかけてかたちづくられる、
人々が生きる環境のことをいいます。

藺田稔編『神道』弘文堂、1988年、総372頁

アルフレッド・シュッツ、トーマス・ルックマン『生活世界の構造』那須壽監訳、筑摩書房、2015年、総634頁

調査のあらまし

2023年10-11月に踏査し、以降文献調査、
地図作成などを行いながらの考察、資料作成を。

—
10月08日(日) 東山田

10日(火) 出井・鉢形・向野

11日(水) 喜沢・東島田・三拝川岸・羽川

13日(金) 三拝川岸・扶桑・南半田・飯塚

28日(土) 喜沢・羽川・出井・荒井

29日(日) 鉢形・東山田・北飯田・萱橋・喜沢

目次:

1 地域の自然について

2 地域の自然への人の働きかけについて

3 地域と人々の心身の結びつき

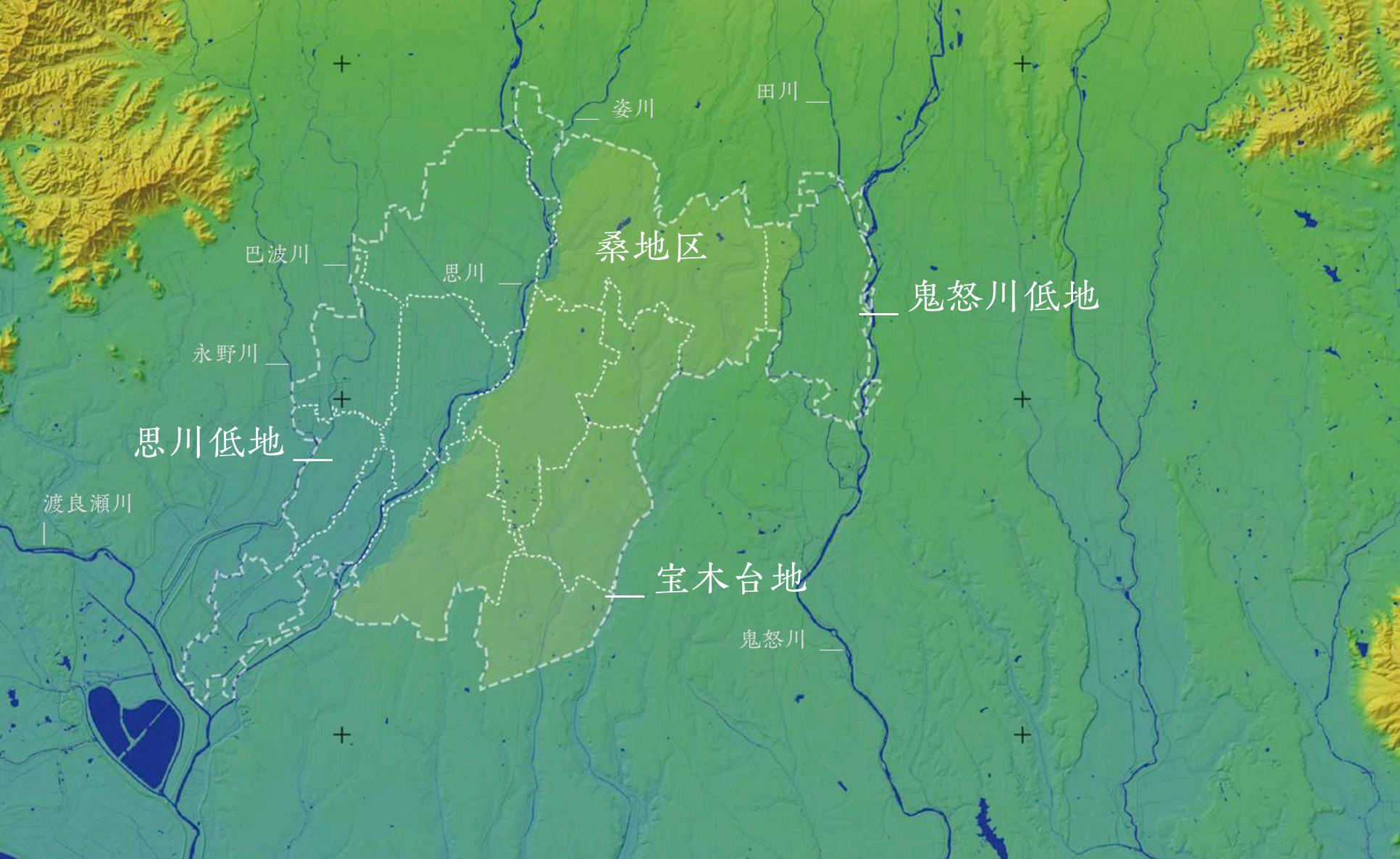
4 景観から読みとれるその他のこと

地域の自然について



合併以前の旧町村の区分に基づく小山市内の11地区を示す | 出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

桑地区は、小山市北部に位置し、



出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

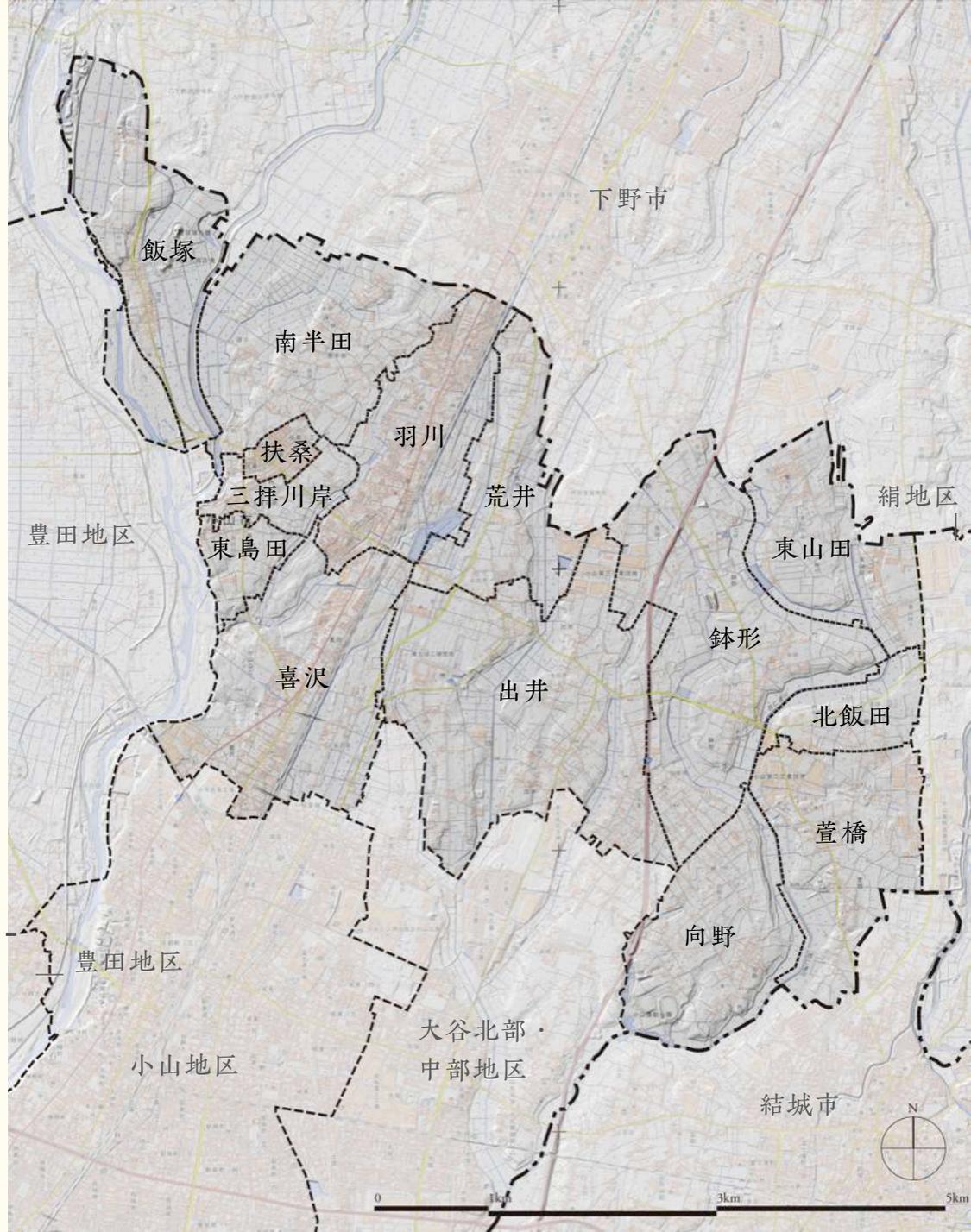
おおむね宝木台地上に立地するも、姿川が北西に。

桑地区は、
13の大字名と
1つの町名(扶桑)で
呼ばれる
14の区域から
成り立ちます。

大字は、
江戸期の村を
前身とします。

出典: 国土地理院 | 地理院地図

<http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2022)





姿川橋から姿川上流側を見る。飯塚・南半田。2023/10/13



三拝川岸(手前)から羽川を見る。2023/10/11

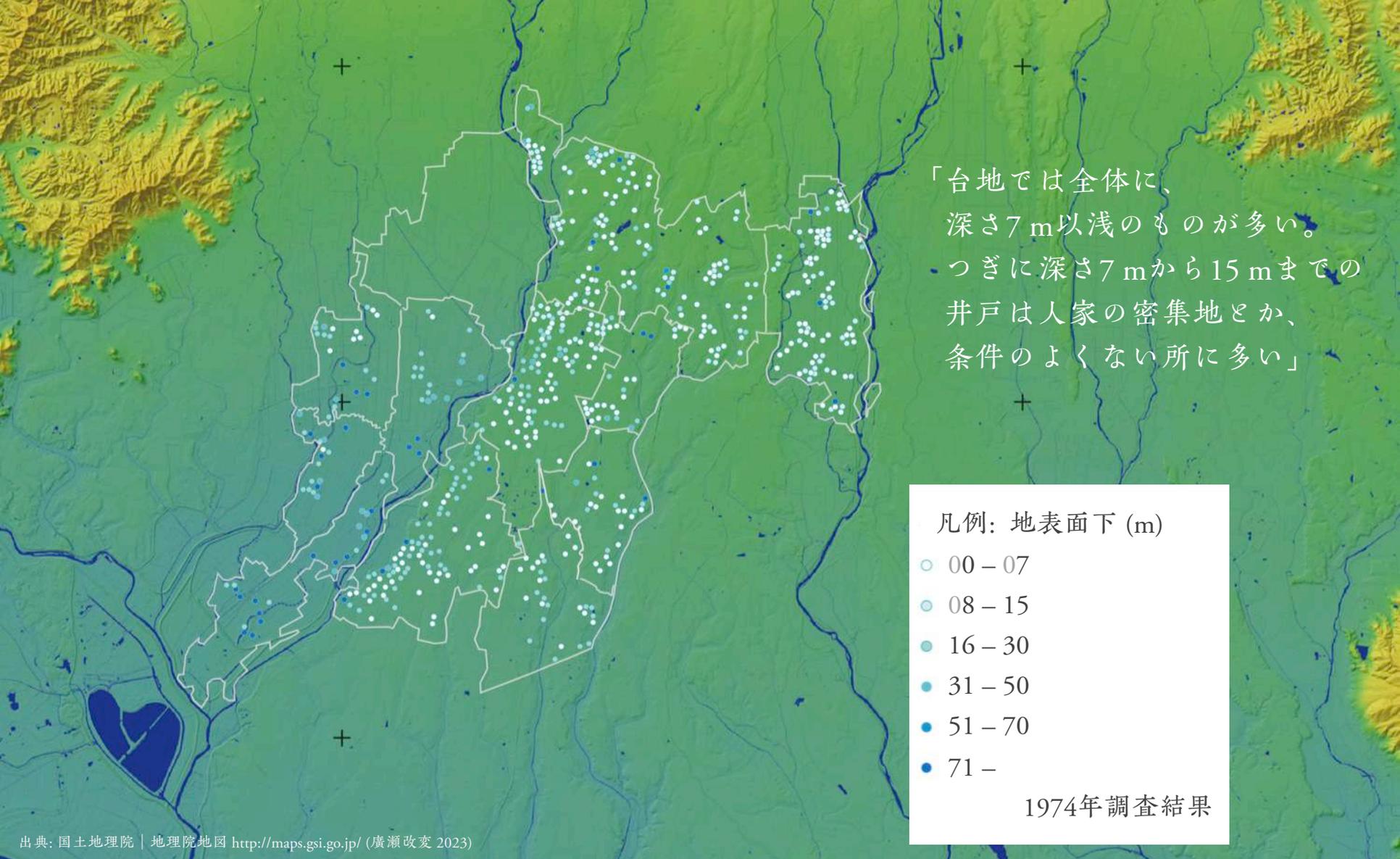


星宮神社の鳥居ごしに侵食谷を見る。荒井。2021/10/28



西仁連川に刻まれた侵食谷。鉢形・北飯田。2021/09/15

飯塚・南半田、三拝川岸・羽川、荒井、鉢形・
北飯田の谷。 樹林と谷が折り重なる環境の基本形が桑地区に。



「台地では全体に、
深さ7m以浅のものが多い。
つぎに深さ7mから15mまでの
井戸は人家の密集地とか、
条件のよくない所に多い」

凡例：地表面下 (m)

- 00 - 07
- 08 - 15
- 16 - 30
- 31 - 50
- 51 - 70
- 71 -

1974年調査結果

出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

「昭和49年(1974)に調査した家庭用地下水利用図」より

市内の井戸の分布。桑地区では全域に浅井戸が。

出典: 小山市史編さん委員会編『小山市史 通史編I 自然 原始・古代 中世』小山市、1984年、33-38頁



白鬚神社の湧水。出井。2023/10/28 (左右共)。掘削した井戸から水が湧き出す自噴井に近い例として示す

「台地の表土の下にはローム層、
その下には砂礫層があって
地下水が流れる。
その下の粘土層が不透水層となり、
深さ7 mより浅い井戸はその上の、
深さ15 mまでの井戸はその下の水を...



地層模式図

出典: 小山市史編さん委員会編『小山市史 通史編I 自然 原始・古代 中世』小山市、1984年、33-38頁



栃木県域は
三つの河川流域圏に
大別され、
桑地区は主に
鬼怒川・小貝川の
流域に含まれます。



地下水の流域は、
 山地で分かたれた水が
 平野に下ってできる
 河川流域におおむね
 合致するといえます。

それぞれの台地にも、
 山々に養われた水が
 流れ下ります。

台地面：
 1 宝積寺面
 2 宝木面
 3 田原面

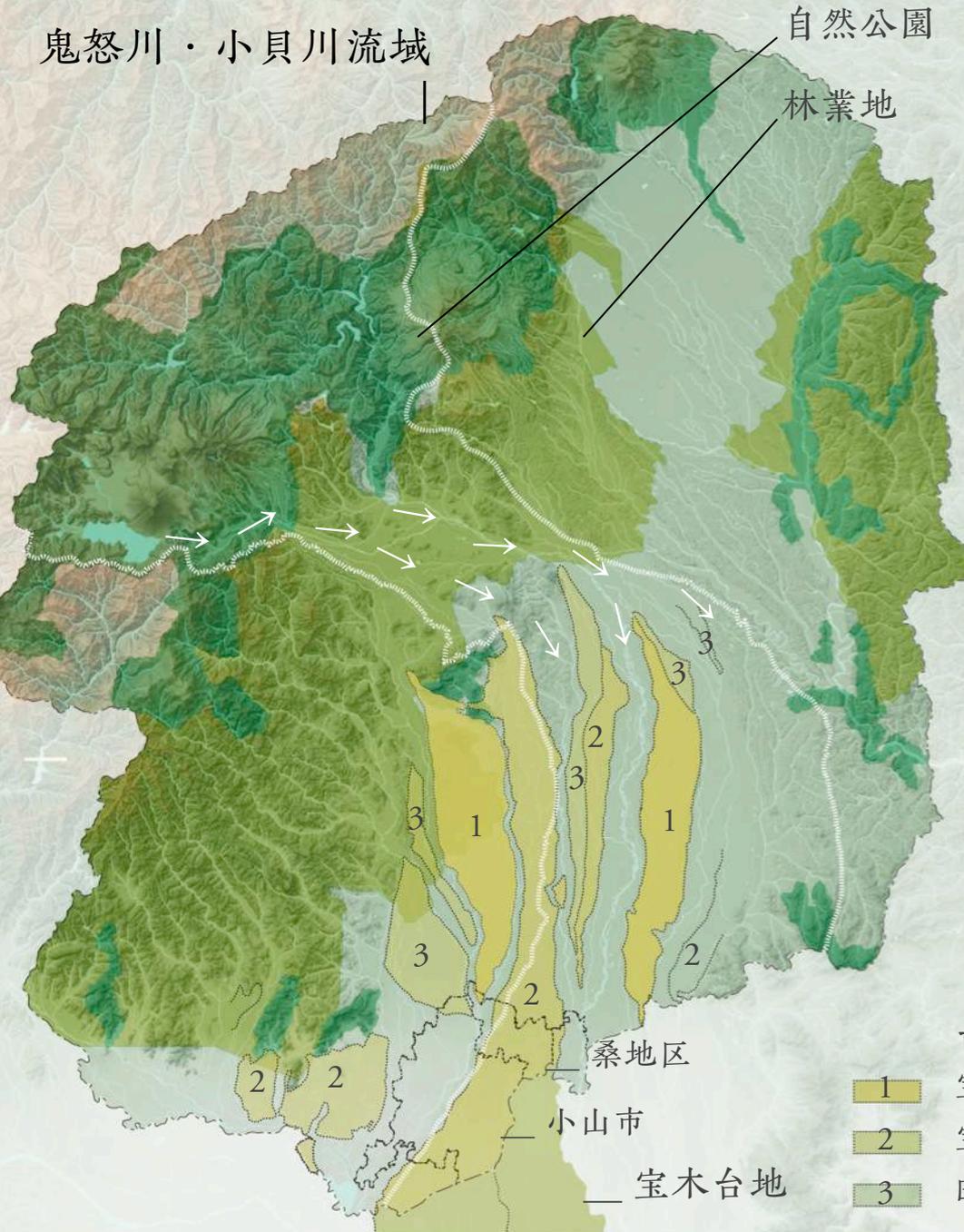
鬼怒川・小貝川流域

自然公園

林業地

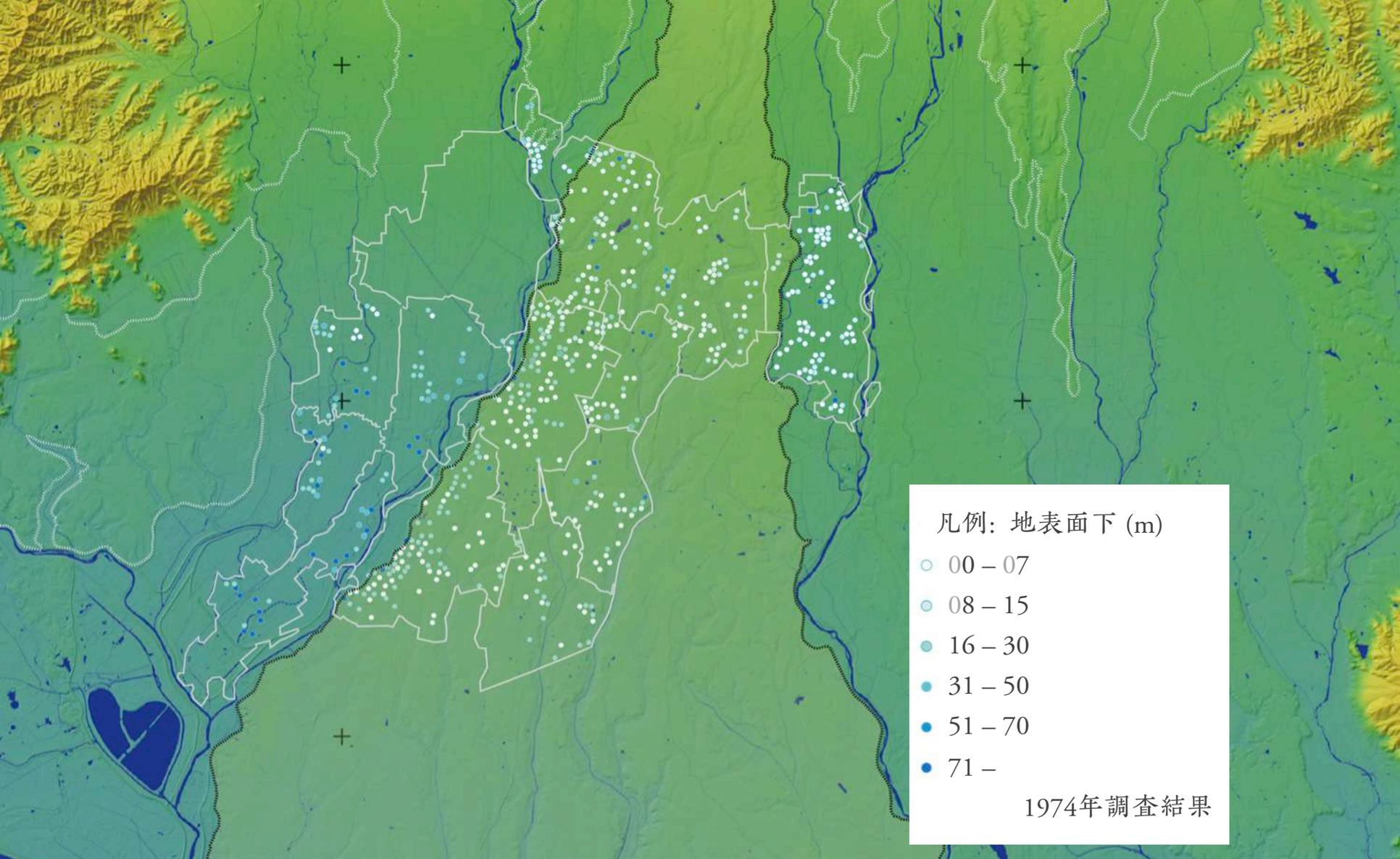
河川上流域では、
自然公園が指定され、
林業地があり、
森林が水を
養っています。

桑地区の平地林も
下流側の水を養う上で
重要です。



台地面:

- 1 宝積寺面
- 2 宝木面
- 3 田原面



凡例：地表面下 (m)

- 00 - 07
- 08 - 15
- 16 - 30
- 31 - 50
- 51 - 70
- 71 -

1974年調査結果

出典：国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

台地が広がり、既存の谷に合さず新たに湧く水も。

出典：小山市史編さん委員会編『小山市史 通史編I 自然 原始・古代 中世』小山市、1984年、33-38頁



西へ流れ下り
姿川へ合流

東へ流れ下り
田川へ合流

上三川町多功から
末は西仁連川を合して
飯沼川となる
流れが発生

弁天沼から
西仁連川が流れ下る

出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

台地が広がり、水は東西へ流れるだけでなく南にも

目次:

1 地域の自然について

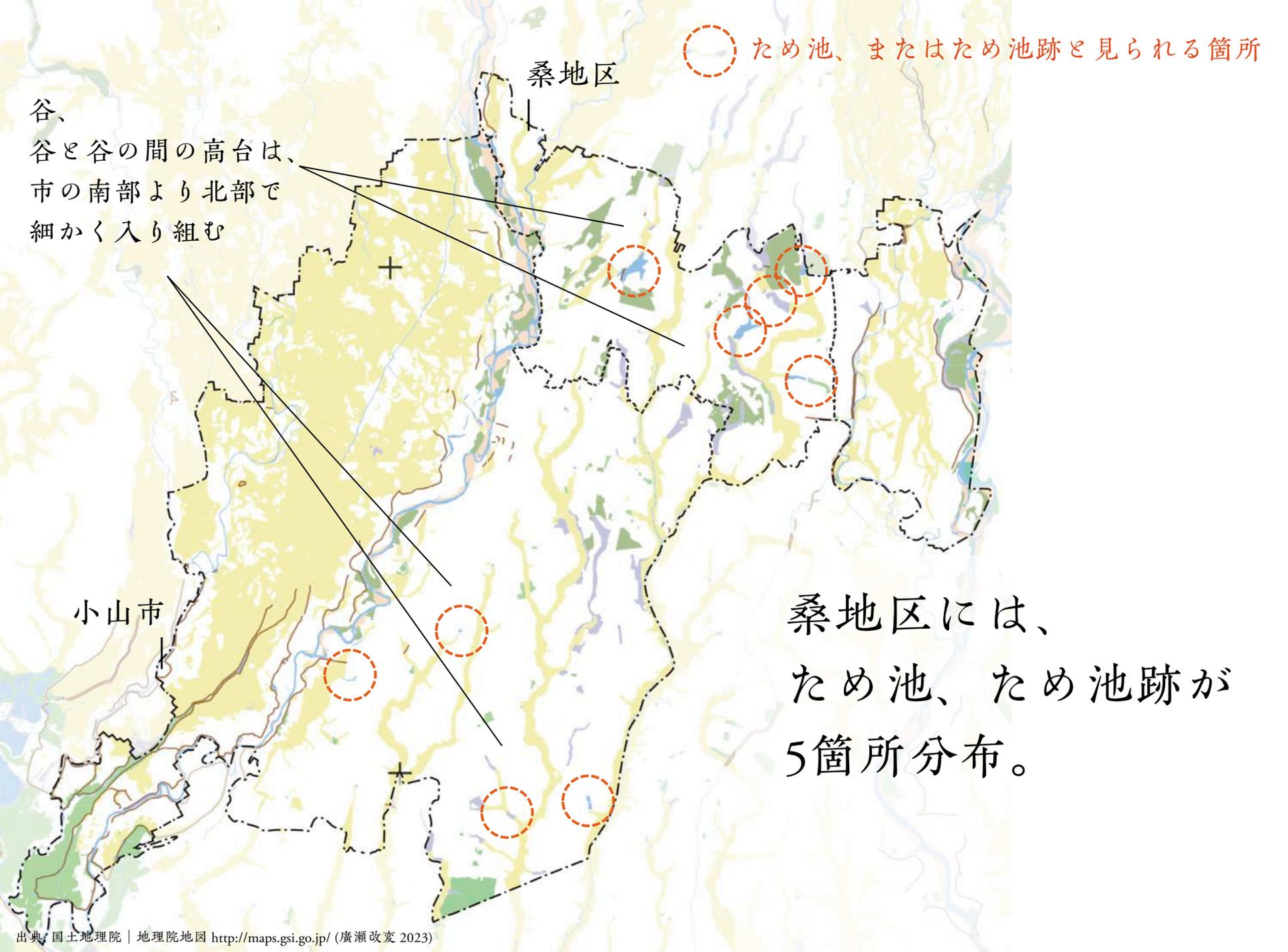
2 地域の自然への人の働きかけについて

3 地域と人々の心身の結びつき

4 景観から読みとれるその他のこと

地域の自然への人の働きかけについて

「市域東部(中略)湧水または雨水によりかろうじて灌漑をおこなっていたが、これらの溜池のうちでも桑村の羽川溜(報告者註:大沼)および鉢形溜がやや規模が大きく、用水源として重要な役割を果たしていた以外には小規模なもので(後略)機械揚水の技術が導入された明治期以降、思川あるいは姿川からの引水が企図された」。



○ ため池、またはため池跡と見られる箇所

桑地区

谷、
谷と谷の間の高台は、
市の南部より北部で
細かく入り組む

小山市

桑地区には、
ため池、ため池跡が
5箇所分布。



明治期の低湿地地図。桑地区範囲を拡大。出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

「台地を刻んで南へ開いている谷には、豊かな湧水
があって湿地や沼を (中略) 大沼や四つ沼も、かつて
は大きな湿地や沼地であったものを人工的に (後略)」



大沼。羽川。2023/10/28



山田沼 (東山田溜)。鉢形、東山田。2021/10/22



鉢形四ツ沼公園。鉢形。2021/10/06



弁天沼。東山田。2021/09/15

大沼は喜沢-東島田間の谷につながる。弁天沼から
西仁連川が流れ、山田沼と四ツ沼は同川の支谷に。

国道4号

小山市立羽川小学校



小山市立羽川小学校前、羽小桜通りから国道4号線を見る。羽川。2023/10/11。羽川の前身は日光街道の新田宿

「陸羽街道の宿駅や街道沿いの村々では戸数・人口とも多かった。(中略)街道から東方に隔って平地林の中に点在する台地上の村々では戸数・人口ともきわめて少なく」。

※明治期に奥州街道を改称し陸羽街道に



小山市の市街化区域と桑地区の位置関係を確認する | 出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

日光街道沿いの宿・村と、工業団地で市街化が。

下野の推定東山道跡は「律令国家成立とともに都と各地の国府をつなぐため直線的な道路（官道）が整備された。」**

以降整備された中世の「鎌倉から北上する奥大道は、野木・小山上で下野に入」**った。

下野の
推定東山道跡*

宝木台地

現在の栃木県

現在の小山市

鎌倉街道下道

鎌倉街道上道

奥大道(鎌倉街道中道)**
おくだいどう かまくらかいどうなかつみち

完新世堆積物（河川低地）、
陸水域

鎌倉

出典: 野上道男「関東とその周辺地域の地質」『日本の地形4 関東・伊豆小笠原』東京大学出版会、2000年。廣瀬改変、2021年

* 阿部昭・橋本澄朗・千田孝明・大嶽浩良『栃木県の歴史』山川出版社、1998年 ** 『第123回企画展 下野の鎌倉街道』栃木県立博物館、2019年

栃木県の東西の山地に挟まれた低地の高台は、
「古来日本列島の主要な縦断交通路」に。***

*** 小山市教育研究所編『小山の自然と社会』小山市教育委員会、1965年



摩利支天塚古墳は、5世紀末 - 6世紀初頭に築造された下野国の中心的地域における典型的な中期古墳であるという。 **

摩利支天塚古墳、摩利支天尊神社。飯塚、桑地区。2021/10/20

「ある地域に古墳が出現する意味は、その地域の豪族がヤマト政権の支配・同盟に組み入れられたと理解される」*。

琵琶塚古墳は、摩利支天塚古墳とほぼ同形同大で、6世紀初頭に築造された。**



琵琶塚古墳。飯塚、桑地区。2021/10/20

「現在の栃木県域で、古墳時代前期(4世紀)に始まった古墳の築造も、西日本からの政治・社会的影響の伝播の一環」*



主要街道の分布 | 出典: 奥田久『内陸水路の歴史地理学的研究 - 近世下野国の場合』大明堂、1977年、総168頁

中世には鎌倉街道中道、近世には日光道中が。

出典: 小山市教育研究所編『小山の自然と社会』小山市教育委員会、1965年、総158頁



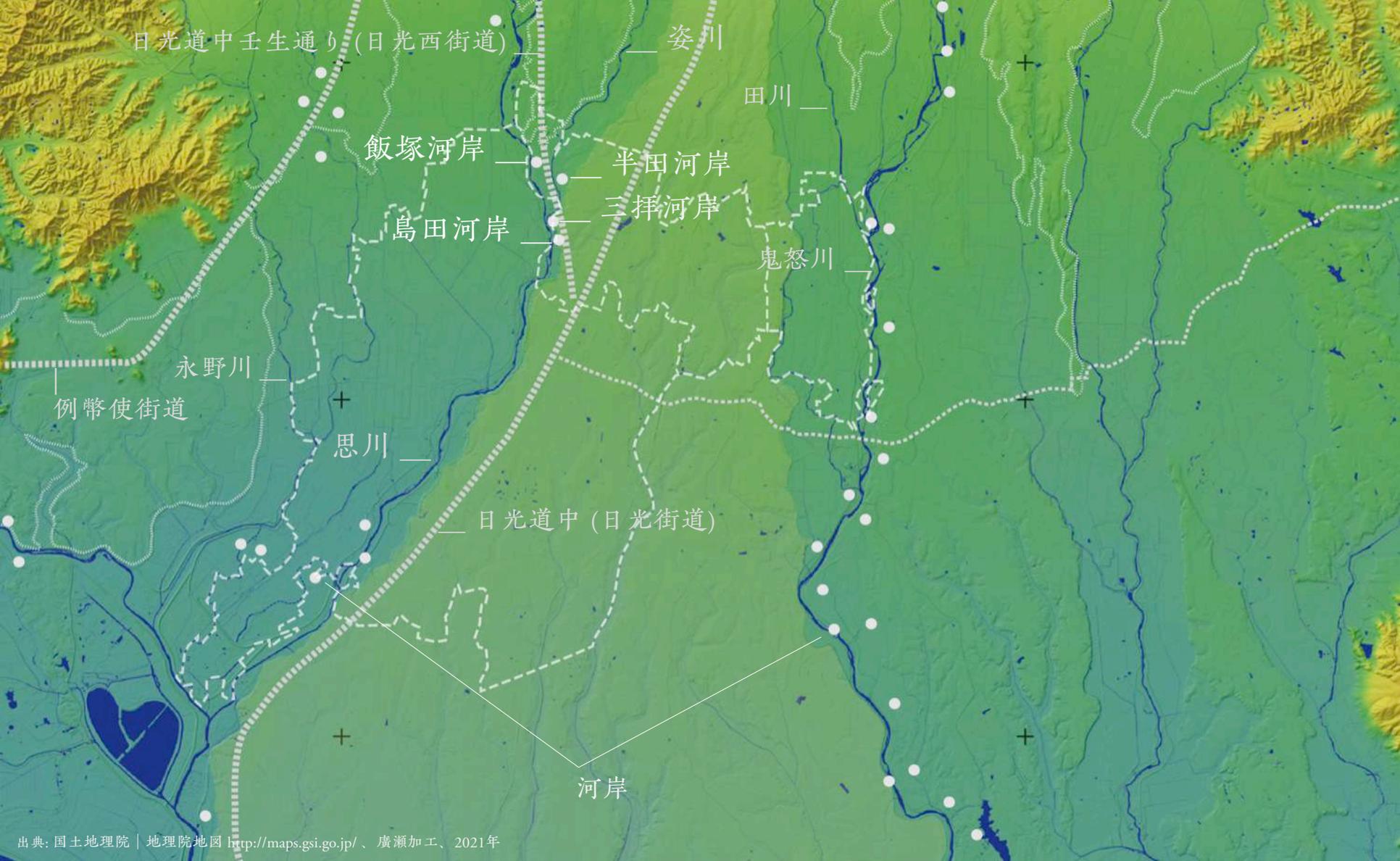
日光街道西一里塚。旧日光西街道喜沢。2021/11/11

喜沢の一里塚。旧日光街道、喜沢。2023/10/29



「喜沢分岐点」。羽川。2023/10/29

「天保6年(1835)、力士の歌ヶ濱斧吉が喜沢の追分に」



出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/>、廣瀬加工、2021年

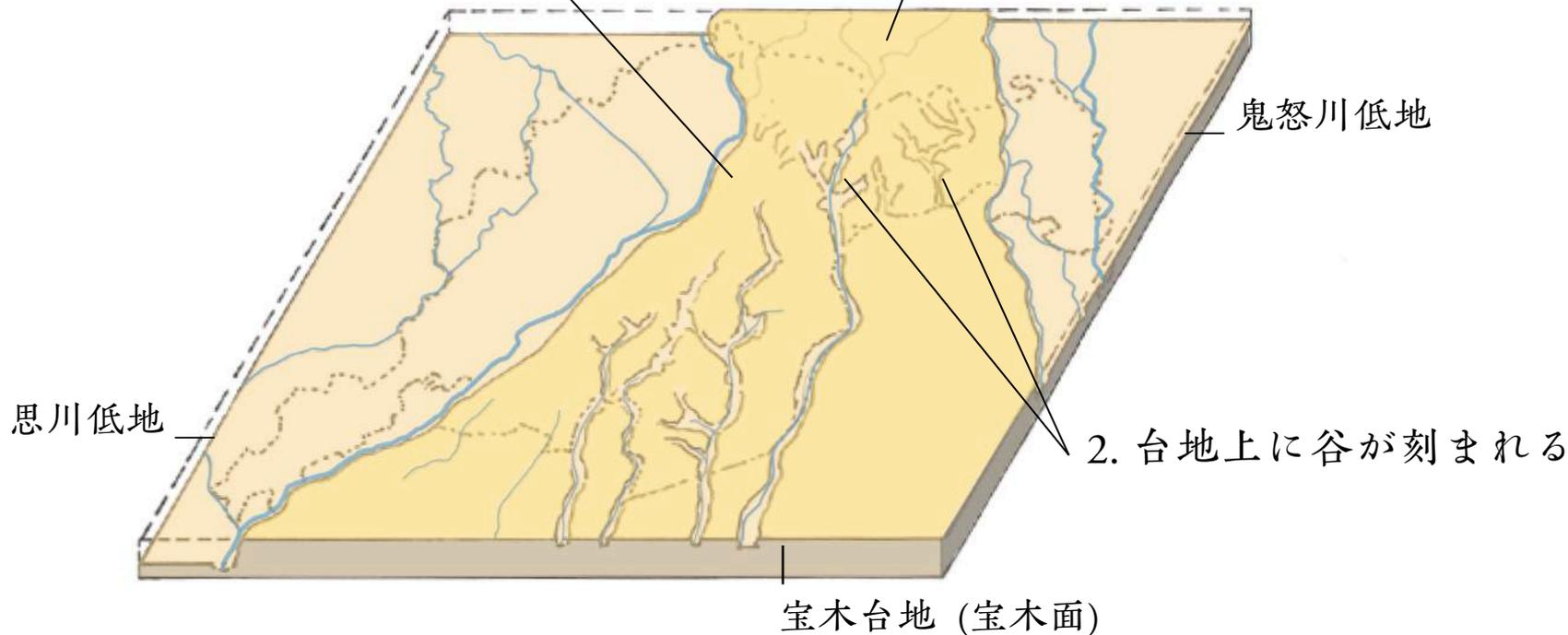
渡良瀬川、巴波川、思川、鬼怒川の河岸の分布 | 出典1: 奥田久監修『栃木の水路』栃木県文化協会、1979年、総376頁

河川交通も組み合わせられ、桑地区には河岸が4箇所。

出典2: 町史編さん委員会編『図説 国分寺町の歴史』国分寺町、2000年、138頁

3. 谷がほぼ刻まれず、
連続して平らに残った範囲に
街道が通された

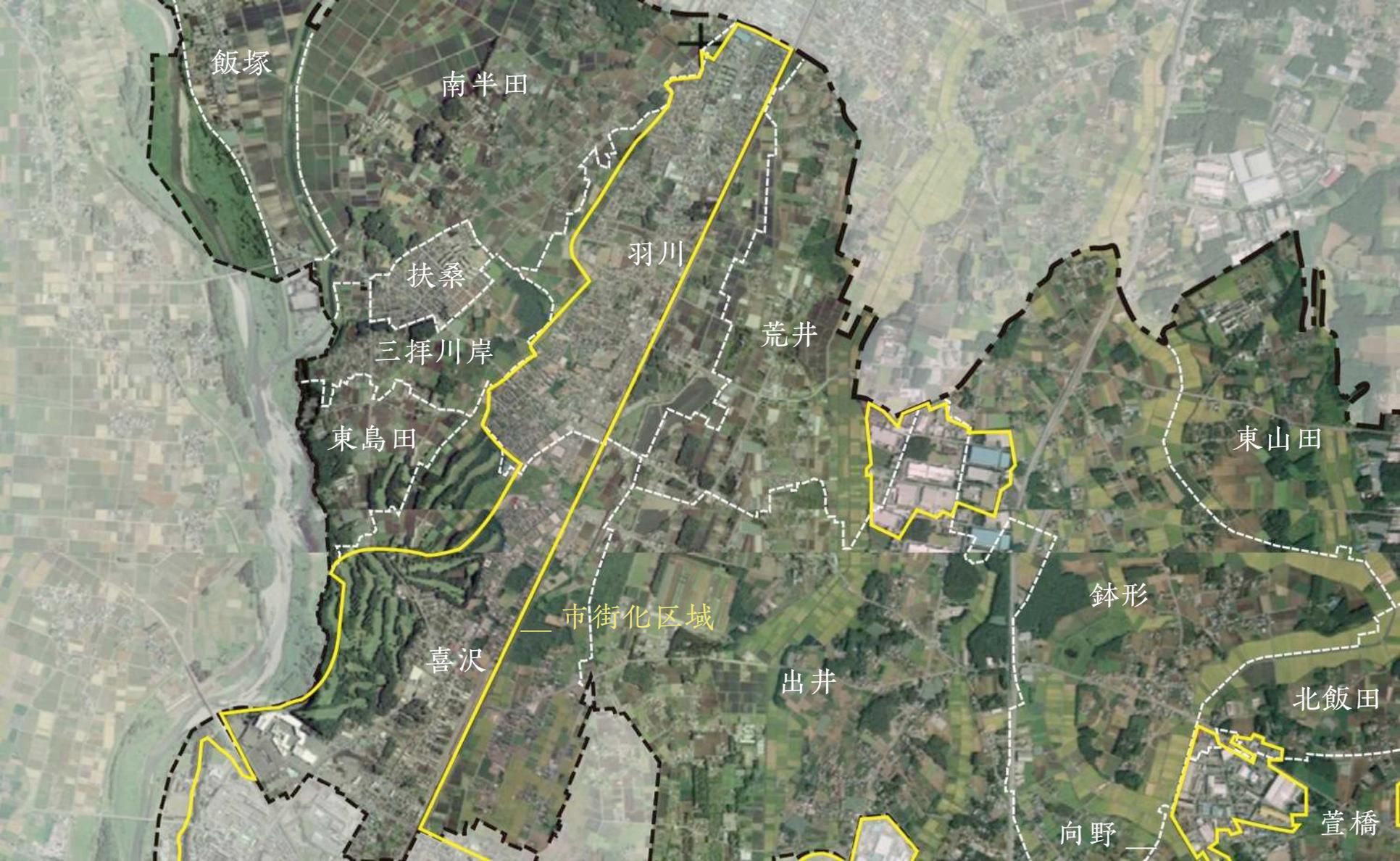
1. 台地が川に削り残される
(最寒冷期: 約2万年前)



台地上での侵食谷の発達過程を表わした概念図 (廣瀬 2023) *

日光道中は、台地上でほぼ谷を渡らずに済む箇所に通されました。谷の分布には「おおむね西北に高く東南に傾斜」した台地の地形が関係しています**

* 田辺晋 「関東平野中央部における沖積層の基盤地形」 『地質学雑誌』 127 (10)、2021年、635-648頁 ** 小山市史編さん委員会編 『小山市史 通史編I』 小山市、1984年、667頁



出典: 国土地理院 | 地理院地図 <http://maps.gsi.go.jp/> (廣瀬改変 2023)

日光街道筋の喜沢村、新田宿(羽川)は、市街化区域に

出典: 小山市教育研究所編『小山の自然と社会』小山市教育委員会、1965年、総158頁



出典: 「日光道中絵図巻5 野木宿より小金井宿まで」 国立公文書館デジタルアーカイブ <https://www.digital.archives.go.jp/img/L/1603304> CC0

「慶長期 (1596~1614) から元和期 (1615~23) にかけて
 奥州道かいさくの開鑿にともない、道筋に集落が成立 (中略)
 近世において新たに成立した集落は、いずれも
 街道に面して直角に屋敷割がなされている (後略)」



土塁上部。愛宕社祠-日枝神社社殿間。喜沢。2023/10/11



土塁断面

日枝神社境内を通る土塁の断面。国道4号より。喜沢。

出典：「日光道中絵図巻5」

2023/10/11

「『木沢口』は、祇園城北の守りとして、『土塁や堀』で防壁化された軍事的な、『要衝の地』(後略)」

目次:

- 1 地域の自然について
- 2 地域の自然への人の働きかけについて
- 3 地域と人々の心身の結びつき
- 4 景観から読みとれるその他のこと

地域と人々の心身の結びつき

郷土 喜沢の話 (1)

2022.10.1.

◇ 1. 郷土

自分が生まれ育った故郷、あるいは生活の地として住居を構え、職を持ち、新しい家族を造り、子供を育てる町を「郷土」と言うのではないのでしょうか？
あなたは、今住んでいる「郷土・喜沢」のことを、ご存知でしょうか？

今月からシリーズで、喜沢のことを知って頂くため、喜沢の歴史や古文書に精通しておられる 地元旧家の古老・伊澤 昭氏 (93才) からお聞きし、又お借りした資料で、喜沢のお話をお伝えしたいと思います。

第1回は、喜沢の「由来と歴史」の部をお伝えします。

伊澤昭「郷土 喜沢の話 (1)」 喜沢東部・中部・南部・北部自治会、2022年

市民が地元のくわしい方に教わってつくる郷土誌が。

お子さん・お孫さんに語り聞かせる昔懐かしい「我が町・喜沢」に今以上の関心と愛着を持って頂ければ

桑西部 歴史・文化・自然 散策コース

●北コース (琵琶塚古墳スタート/ゴール)

■所要時間/Km (約140分/8Km)

●南コース (羽川西小スタート/ゴール)

■所要時間/Km (約130分/7Km)

●緑道 ●

●マナーを守って歩きましょう!
※飲食物等ゴミは持ち帰りましょう!



●お問い合わせ先 桑地区わがまち発掘推進協議会
☎(0285) 22-4545

桑西部 北コース

- ① 琵琶塚古墳
前方後円墳で、全長100m以上、県内最大で最古を誇る。
- ② 摩利支天塚古墳
前方後円墳で国指定遺跡である。
- ③ 台林寺
天台宗のお寺で、しだれ桜が有名。北側に天満宮がある。
- ④ 飯塚一里塚
飯塚の一里塚で、喜沢ゴルフ場内の街道より4kmにあたる。
- ⑤ 紫雲寺
観音上人伝説で有名。浄土真宗の古寺である。
- ⑥ ホタル川群生地
小山市の北端で、時期になると、平家堂が群れて飛んでいる。
- ⑦ ホタルなら山泥器生地
北関東一の釣り堀より流れ出た水の沢に、平家堂が群生する。

- ⑧ 桑の里うどん
飯塚のどさんこ一番で、桑の里うどんが食べられます。
- ⑨ 妙典寺
日蓮宗のお寺。道路を挟んで、末期の古墳がある。

桑西部 南コース

- ① 大日山美術館
芥菜の古民家を移築した美術館で、小口面佑の版画が主展示。
- ② 小山修道院
森の中にあり、思川桜発祥の地として知られている。
- ③ 子育て地藏
古くより子育てのために信仰されている。
- ④ 愛宕神社
神明宮と称し、天照皇大神を主祭神とし天正元年創建された。
- ⑤ 上宮神社
参道に杉並木。社殿の彫刻で知られている。

桑中部 歴史・文化・自然 散策コース



●お問い合わせ先 桑地区わがまち発掘推進協議会
☎(0285) 22-4545

- 桑中部北コース
 - ① 不動尊
 - ② 星宮神社
 - ③ 権持神社
- 桑中部南コース
 - ④ 藤原堂
 - ⑤ 西馬地稲安
 - ⑥ 愛の橋
 - ⑦ 藤原堂
 - ⑧ 日枝神社
 - ⑨ 一里塚
 - ⑩ 一里塚

桑東部 歴史・文化・自然 散策コース



●お問い合わせ先 桑地区わがまち発掘推進協議会
☎(0285) 22-4545

- 桑東部北コース
 - ① 山田沼
 - ② 龍野神社
 - ③ 権持神社
 - ④ 龍野神社
 - ⑤ 龍野神社
 - ⑥ 龍野神社
- 桑東部南コース
 - ⑦ 小山運動公園
 - ⑧ 龍野神社
 - ⑨ 藤原堂
 - ⑩ 藤原堂
 - ⑪ 藤原堂
 - ⑫ 藤原堂

「桑西部・中部・東部 歴史・文化・自然散策コース 案内地図」 桑地区わがまち発掘推進協議会 (2021年入手)

東西に長い地区を東部・中部・西部に分け、文字通り歴史・文化・自然を巡る経路をそれぞれに南北2コースを設け、案内地図を制作、配付。



神明宮前。三拝川岸。2023/10/13



東島田子育て地藏尊。東島田。2023/10/11



荒井公民館、正福院跡。荒井。2023/10/28



白鬚神社。出井。2021/10/19



薬王寺前。萱橋。2023/10/29



千手院跡。向野。2023/10/10

「桑地区の野仏総数は203基」。写真中の最古の例は、
上段中央右の延命地藏尊座像で享保12年(1727)造立。



栃木県道33号小山環状線南側の主要区画道路。羽川。2023/10/11

市道9号線南側に沿う「くらしの道公園」。羽川。2023/10/11

大字羽川の一部、南半田の一部を対象とした
羽川地区まちづくり構想（面積約130 ha）では、
「既存の主要区画道路の改善」による「安全に
歩ける使いやすい生活道路づくりと地区全体の
回遊性の向上」などが図られています。



まちづくり推進団体「トンボの里 東山田上」メンバーとの合同踏査より (左: 弁天沼。右: 山田沼)。東山田。2023/10/08

東山田で行われる地区まちづくり活動は、
生き物が住む環境と農地の再生・活用などを基本に
弁天沼で草を刈り、大豆を作って味噌を仕込み、
ゴミを拾い... 「各メンバーの特質を組み合わせる」



荒井団地有志の共同農場「地域の楽園」。荒井。2021/10/28

同左。2021/10/28

会員相互の交流、地域との交流、農産物等の提供、ボランティア活動を、地域有志の共同農場が。



ナシ。出井。2023/10/10



カキ。出井。2023/10/10



リンゴ。東島田。2023/10/11



パイナップル。南半田。2023/10/13



キウイフルーツ。鉢形。2023/10/29



ブルーベリー。北飯田・2023/10/29

穀物、野菜の他に果樹の種類が多く、写真の他に
ブドウ、クリ、カリンなども。さらに庭木、山苗...

目次:

- 1 地域の自然について
- 2 地域の自然への人の働きかけについて
- 3 地域と人々の心身の結びつき
- 4 景観から読みとれるその他のこと

景観から読みとれるその他のこと



栃木県立小山北桜高等学校周辺 (空中写真)。東山田。2008/09/09 同左。「高校の道」。東山田。2023/10/08

歩道幅員3 m、植栽帯幅員5.8 m、延長約355 mと、国内では珍しく大規模な小山北桜高校前の緑路。



扶桑第1公園。扶桑。2023/10/13



扶桑第2公園。扶桑。2023/10/13



出井公民館西側の広場(参考)。出井。2023/10/28



向野本田の運動場。向野。2023/10/10

アンケート回答に、子供が遊べる公園が少ないと。
扶桑や向野のように近隣公園的な例は、確かに...



オオムラサキ harum.koh 撮影、CC BY-SA 2.0

アンケート回答(原本)にオオムラサキの生息地保全を訴える声。 大谷北部・中部、南部地区でも2015年に生息が確認

景観から読みとれるその他のこと

「国蝶オオムラサキは昭和二十年頃までは小山市域でも普通に見ることができた。本種は近年極端にその数が減り、絶滅したと見られていたが、昭和五十七年（1982）に無線山で雄一匹が観察された。」。

出典：小山市史編さん委員会編『小山市史 通史編Ⅰ 自然 原始・古代 中世』小山市、1984年、110頁



エノキ (部分拡大)。鹿島神社。北飯田。2023/10/29

エノキ (全体)。同左

「減少の原因は、幼虫の食樹であるエノキが少なくなつたこと、幼虫の越冬場であるエノキの落葉が処分されてしまうこと、成虫の蜜源であるクヌギの減少の他、農薬の影響などが考えられる」

地域の自然への人の働きかけについて

「結論として、オオムラサキの保護には、
幼虫の寄主植物であるエノキと
成虫の吸汁源として重要なクヌギ林が備わった、
ある一定面積の落葉広葉樹二次林を
生息地とみなし、これを伐期が異なる
小班に区分すること（輪伐）が必要と思われる」

出典: 小林隆人・谷本丈夫・北原正彦「森林面積率とエノキおよびオオムラサキの生息密度との関係」
『保全生態学研究』9 (1): 2004年、1-12頁



DNP創発の杜 箱根研修センター第2。神奈川県箱根町。2010/07/26

既存林を残しつつ整備された企業研修施設の例。
地域全体の持続可能性に照らした樹林地等の開発の
可否の判断が先決であるが、開発の方法の精査も...



番いど見られる二羽の鳥。山田沼。東山田。2023/10/08

ミゾゴイ営巣中の様子。出典: Kogado (2013) CC BY-SA 3.0

山田沼の上空で、赤みがかった薄茶色の鳥が二羽飛ぶのを見ました。首を上へ折り、頭を体に載せる飛び方が首の短いサギ類に見え、大きさと色から低平地の森林で繁殖する水鳥ミゾゴイではないかと



コンクリートを用いて整備された水路。飯塚。2023/10/13

同じ水路で淡水魚2種を写した写真を部分拡大する。2023/10/13

ミゾゴイは、ほぼ日本のみで繁殖する渡り鳥で、国際的な保護が持続社会の実現に求められます。桑地区では直線化された水路にも魚類や甲殻類、貝類等が生息し、同じく人の便益確保のために…。



旧メルク本社。米国ニュージャージー州。Source: “Unicom Buys Former Merck Headquarters”, New Jersey Business Magazine, 12 July, 2018.

既存林を残しつつ整備された米国企業の本社屋。
地域全体の持続可能性に照らした樹林地等の開発の
可否の判断が先決であるが、開発の方法の精査も...